

# 2013 年度龍起業塾 講座レポート

You,  
Unlimited



## 第 3 回 起業に必要な会計基礎知識

日時 2013 年 5 月 15 日(水) 17:00~19:00  
会場 龍谷大学 深草キャンパス 22 号館 304 教室  
講師 加藤 正浩  
龍谷大学経営学教授

2013 年度龍起業塾の第 3 回目の講義が 5 月 15 日開催されました。第 3 回目の講師は龍谷大学経営学部教授の加藤正浩先生です。会計学を専門としており損益計算書や貸借対照表の書き方など実学の概要をご講義くださいました。



### 講義サマリー

起業に、なぜ「会計」は必要なのか。

多くの起業家が会計は全て専門家に任せ、「利益」だけに注意を注ぎ、「よかった」といっては喜び、「悪かった」といっては悔しがります。しかし、それでは、会計によってもたらされるもの、知恵、恩恵の 1%しか手にしていません。起業家でも、会計を知り、みずから実践する者だけが、「利益」の真の意味と限界を知り、賢く、また社会から歓迎され評価される、つまり「儲かる」事業活動を行うことができます。

### 会計とは

「会計」とはある特定の経済主体の経済活動を、貨幣額などを用いて計数的に測定、記録し、その結果を特に利益（損益）という形で報告書にまとめて利害関係者に伝達、説明するためのシステムです。つまり、会計は、単なる金勘定のための手段ではなく、自分を知るため、知らせるための情報源作成の手段であり、会計を行う過程で、起業家は多くの情報を得ることもできるということです。また、会計を行うことで、信用が高まりますので、起業家は資金調達を有利に行うことができます。日本では起業の際、法的な手続きから学ぶことが多いが、株式会社発祥地であるイギリスでは必ず会計から学びます。起業に関するどの本でも会計を真っ先に学ぶ構成となっています。これはやはり会計の重要性に関する理解が進んでいるからです。日本においても会計の重要性についてもっとよく考えるべきではないかと思います。

# 財務諸表等とは

---

先にも述べましたがキャッシュ(資金)の意味は二つあります。一つは現金です。手許現金および要求払預金(当座預金・普通預金・通知預金など)を指します。もう一つは現金同等物です。容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期投資(取得日から満期日または償還日までの期間が3ヵ月以内の短期投資である定期預金、譲渡性預金、コマーシャル・ペーパー、売戻し条件付現先、公社債投資信託など)を指します。キャッシュ・フロー計算書の表示形式は直説法と間接法がありますが、一般的に間接法が使われます。これは、特に連結での直接法キャッシュ・フロー計算書が作成困難であり、比較的の間接法によって作成することが簡便であるからです。直接法は間接法に比べてキャッシュ・フローに対する収益・費用の関連性を表記できる反面、実務が煩雑である難点を持ちます。しかし、IFRSは直接法に一本化される方向であり、米国基準も直接法を推奨していますし、中国の「新企業会計準則」では2012年1月1日より間接法が禁止されています。

本講義では、財務諸表について基本的なことをお話ししました。専門用語等が多くわかりづらい部分があったかもしれませんが、冒頭で言ったように、会計は起業において非常に重要な役割を持ちます。カリキュラムの早い段階で学んでいて正解だと思います。今日お話しできなかった部分については、後日の講義で話しがあると思います。実学の授業は大変だと思いますが頑張ってください。

## キャッシュ・フロー計算書

---

財務諸表とは、出資者、債権者、投資者が出資、融資、投資の意思決定を行うために用いる会計書類のことです。基本的には貸借対照表と損益計算書から構成されますが、その他、キャッシュ・フロー計算書も含まれることがあります。損益計算書は企業の一定期間の経営成績を示します。経営成績とは収益・費用・損益の状況のことです。

一方、貸借対照表は企業のある時点における財政状態を示します。財政状態とは資産・負債・資本の状態を表します。キャッシュ・フロー計算書は企業の一定期間の資金状況を示します。資金とは現金と現金同等物のことをいいます。損益計算書からは、利益または損失の生じた「経緯」「いきさつ」が分かり、貸借対照表からは、資金の「運用状態」と「源泉」が分かりますが、「財産」は分かりません。

なお、損益計算書の項目にある経常費利益は日本特有にものです。日本企業は銀行の借入金に依存しており、支払金利が大きく発生します。そのため、支払利息を差し引かないと本当の利益がわからないという理屈です。ただし0金利政策などで金利が低ければ関係はありません。

さらに、貸借対照表でつかわれている「資産」の額は単に購入時の額であり、実際にどれほどの価値があるかわからないので注意してください。これだけ見てもその会社が倒産しないかどうかの判断はできません。

貸借対照表と損益計算書の欠点は二つあります。一つは期間損益と現金収支に差が生じることです。これがキャッシュ・フロー計算書が必要となる理由の1つです。もう一つは期間損益と課税所得に差が生じることです。